

議題 2

令和 2 年 3 月 4 日
 学校教育部指導第一課
 学校教育部指導第二課

平成 3 1 年度「広島市児童生徒の体力・運動能力調査」の結果について（報告）

1 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の概要

(1) 調査目的

- ア 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査校数等

ア 調査対象

広島市立小学校第 5 学年児童、広島市立特別支援学校小学部第 5 学年児童
 広島市立中学校第 2 学年生徒、広島中等教育学校（前期課程）第 2 学年生徒
 広島市立特別支援学校中学部第 2 学年生徒

イ 調査校数及び調査人数

校 種	小学校	中学校	中等教育学校	特別支援学校	合 計
調査校数（校）	142	63	1	1	207
調査人数（人）	10,793	8,324	120	※40	19,277

※ 特別支援学校については、小学部・中学部を含む。

(3) 調査実施期間

2019年4月～7月

(4) 調査事項

ア 児童生徒に対する調査

(ア) 実技調査

種 目	体力評価	小学校第 5 学年 小学部第 5 学年	中学校第 2 学年 中学部第 2 学年
握力	筋力	○	○
上体起こし	筋力・筋持久力	○	○
長座体前屈	柔軟性	○	○
反復横とび	敏しろう性	○	○
20mシャトルラン（往復持久走）	全身持久力	○	○
持久走（男子 1,500m・女子 1,000m）		—	○
50m走	スピード	○	○
立ち幅とび	筋パワー	○	○
ソフトボール投げ	巧み性・筋パワー	○	—
ハンドボール投げ		—	○

(イ) 質問紙調査（小学校 26 項目 中学校 26 項目）
 運動習慣、体育・保健体育の授業等に関する質問紙調査

イ 学校に対する質問紙調査（小学校 27 項目 中学校 29 項目）
 児童生徒の体力向上に係る取組、体育・保健体育の授業等に関する質問紙調査

ウ 教育委員会に対する質問紙調査（8 項目）
 子供の体力向上に係る施策等に関する質問紙調査

(5) 実技調査の結果

男子児童の体力の推移（小学校第5学年、小学部第5学年）

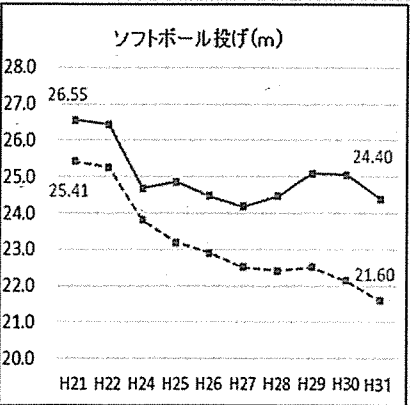
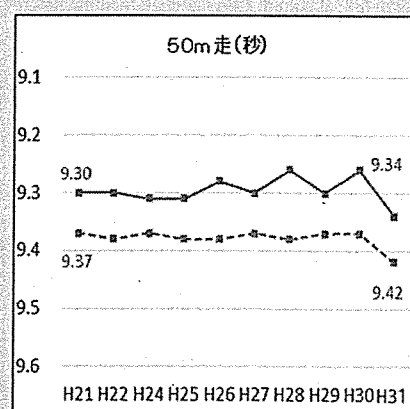
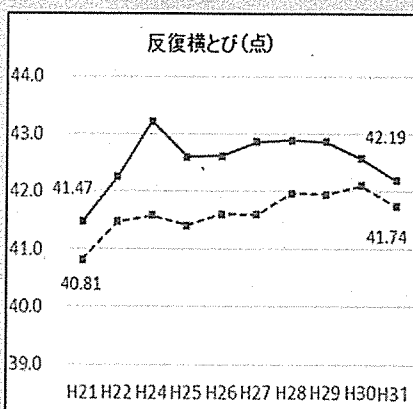
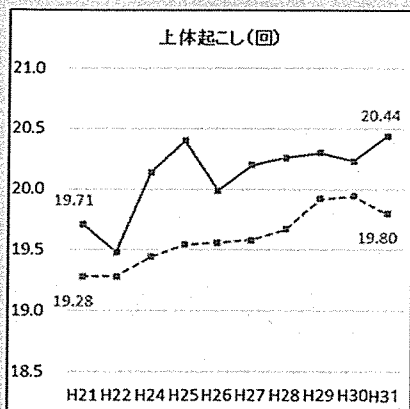
1 全国平均値と同じか上回る種目数

	種目数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
小5男子	8	5	5	—	6	6	6	5	6	4	4	4

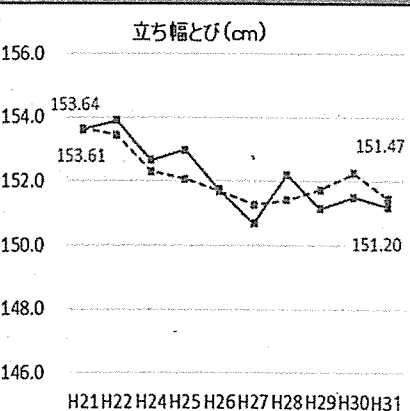
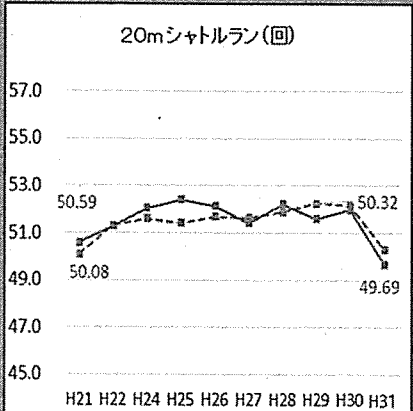
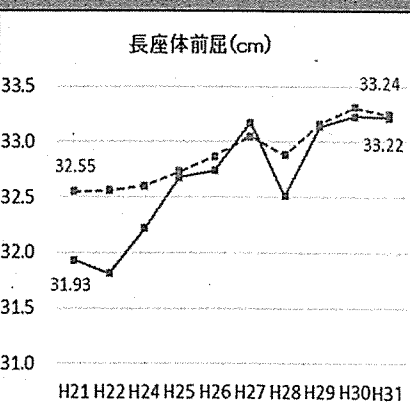
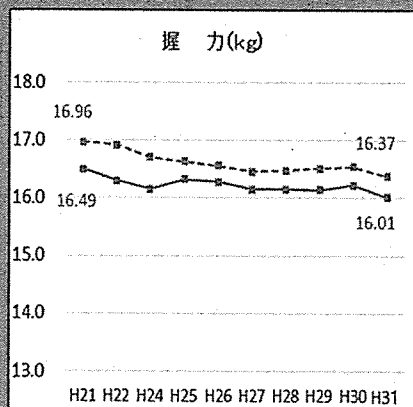
※H22,H24は抽出調査、H23は東日本大震災の影響により調査無し

2 本年度全国平均と同じか上回る種目の傾向（H21～H31）

--- 全国
— 広島市



3 本年度全国平均を下回る種目の傾向（H21～H31）



- 全国平均値(H31)との比較
 - ・ 同じか上回る種目(4種目)
 - 上体起こし 反復横とび
 - 50m走 ソフトボール投げ
 - ・ 下回る種目(4種目)
 - 握力 長座体前屈
 - 20mシャトルラン 立ち幅とび
- 広島市平均値(H21)との比較
 - ・ 同じか上昇している種目(3種目)
 - 上体起こし 反復横とび
 - 長座体前屈
 - ・ 低下している種目(5種目)
 - 握力 50m走 立ち幅とび
 - 20mシャトルラン
 - ソフトボール投げ

女子児童の体力の推移（小学校第5学年、小学部第5学年）

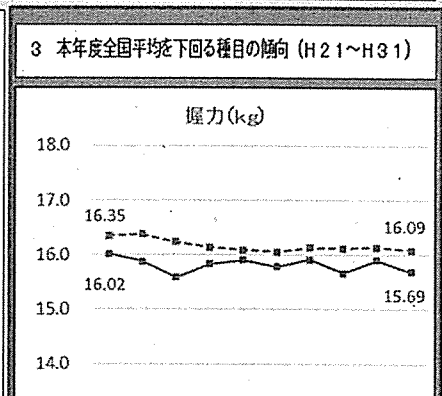
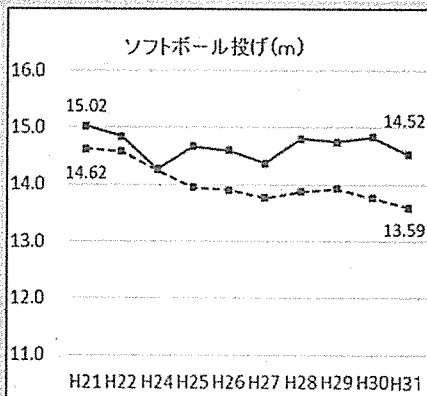
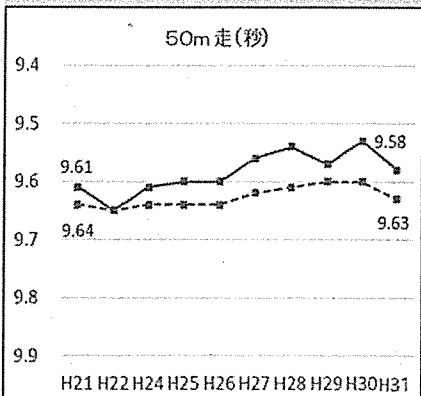
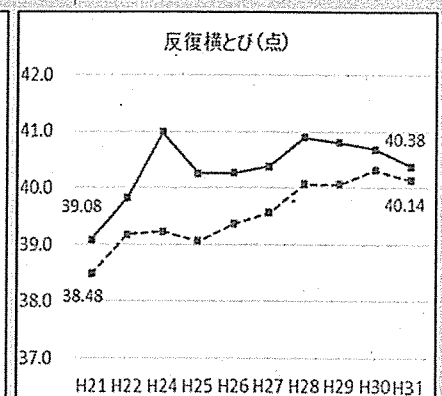
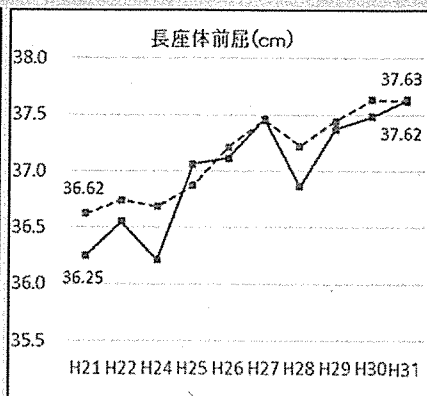
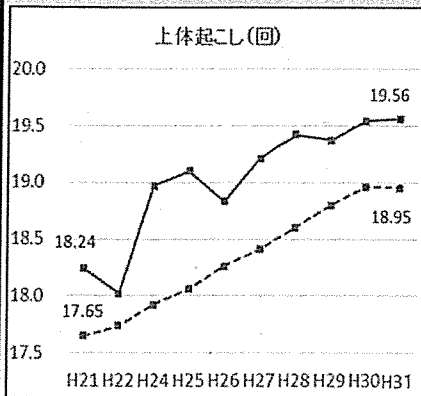
1 全国平均値と同じか上回る種目数

	種目数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
小5女子	8	4	4	—	5	6	4	6	5	4	4	5

※H22,H24は抽出調査、H23は東日本大震災の影響により調査無し

2 本年度全国平均と同じか上回る種目の傾向(H21~H31)

--- 全国
— 広島市



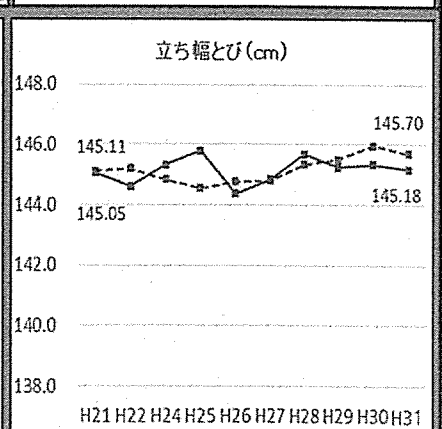
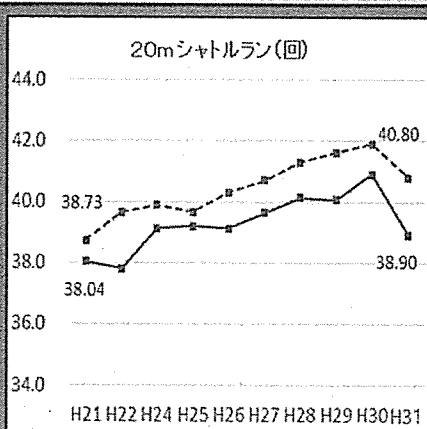
3 本年度全国平均を下回る種目の傾向(H21~H31)

○ 全国平均値(H31)との比較

- ・ 同様に上回る種目(5種目)
上体起こし 長座体前屈
反復横とび 50m走
ソフトボール投げ
- ・ 下回る種目(3種目)
握力 20mシャトルラン
立ち幅とび

○ 広島市平均値(H21)との比較

- ・ 同様に上昇している種目(6種目)
上体起こし 反復横とび
長座体前屈 50m走
20mシャトルラン 立ち幅とび
- ・ 低下している種目(2種目)
握力 ソフトボール投げ



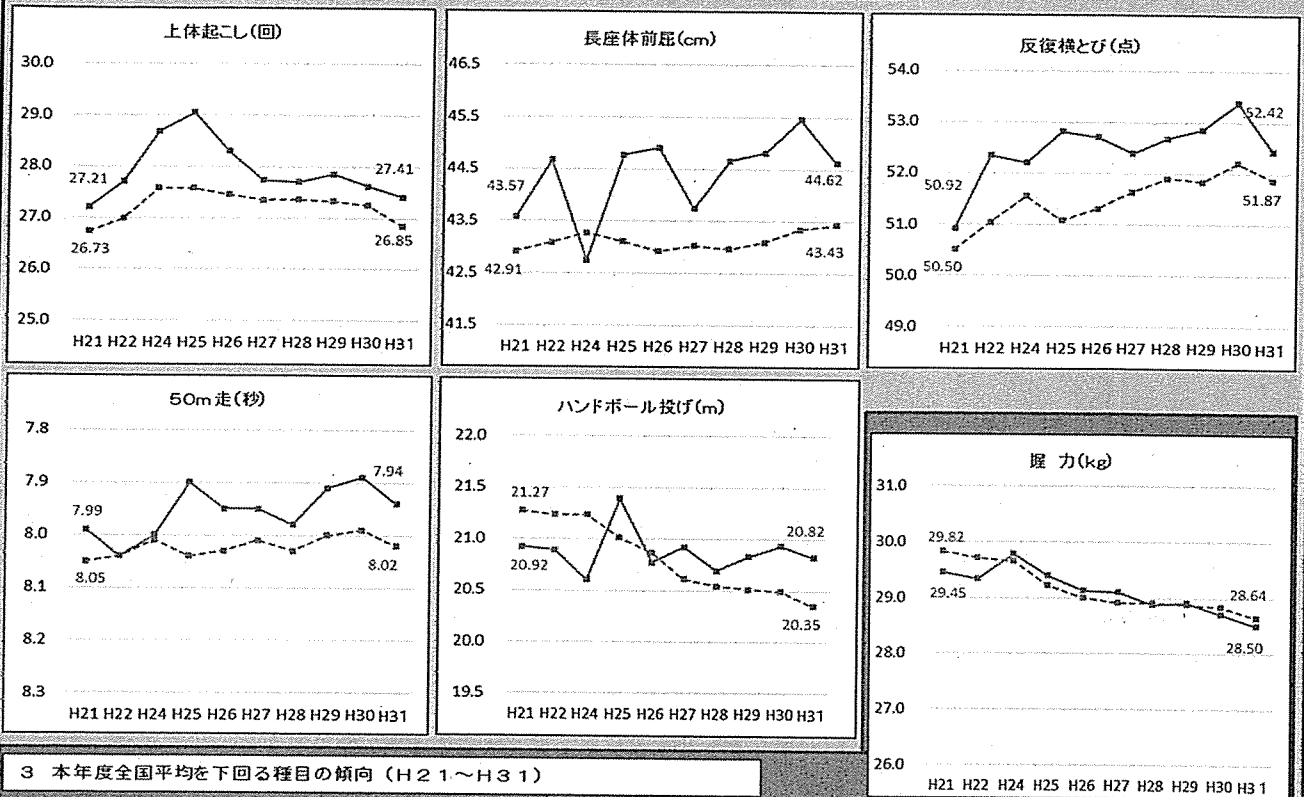
男子生徒の体力の推移（中学校第2学年、中学部第2学年）

1 全国平均値と同じか上回る種目数

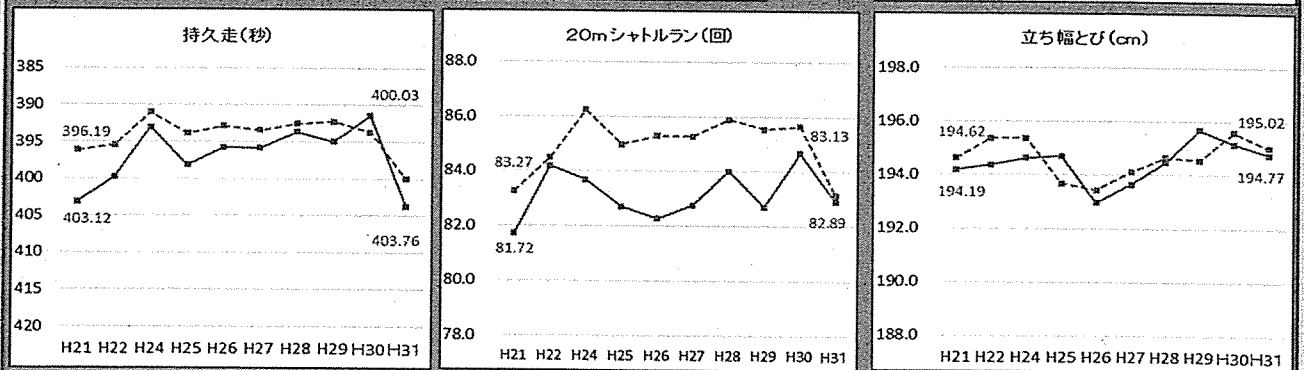
	種目数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
中2男子	9	4	4	—	4	6	5	6	5	7	6	5

※H22、H24は抽出調査、H23は東日本大震災の影響により調査無し

2 本年度全国平均と同じか上回る種目の傾向（H21～H31）



3 本年度全国平均を下回る種目の傾向（H21～H31）



- 全国平均値(H31)との比較
 - ・ 同じか上回る種目(5種目)
上体起こし 長座体前屈 反復横とび 50m走 ハンドボール投げ
 - ・ 下回る種目(4種目)
握力 持久走 20mシャトルラン 立ち幅とび
- 広島市平均値(H21)との比較
 - ・ 同じか上昇している種目(6種目)
上体起こし 長座体前屈 反復横とび 20mシャトルラン
50m走 立ち幅とび
 - ・ 低下している種目(3種目)
握力 持久走 ハンドボール投げ

女子生徒の体力の推移（中学校第2学年、中学部第2学年）

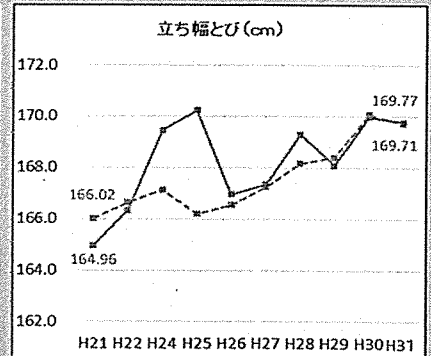
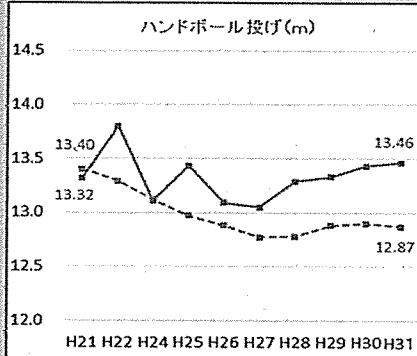
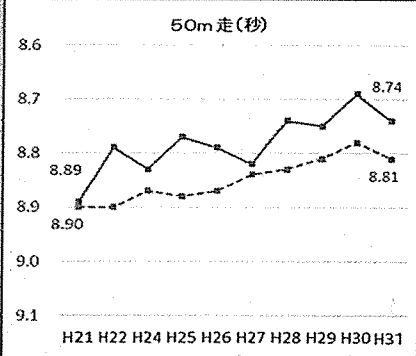
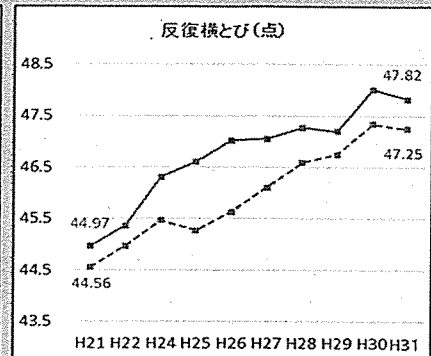
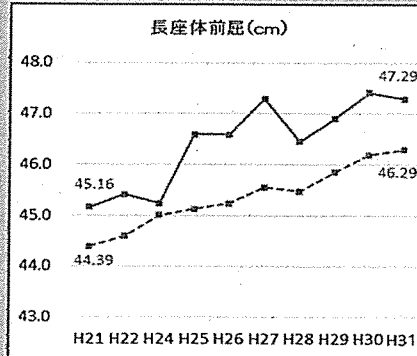
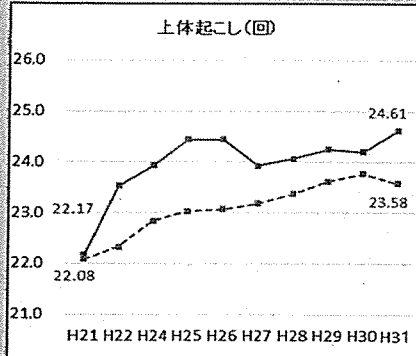
1 全国平均値と同じか上回る種目数

種目数	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
中2女子	9	3	5	—	6	6	6	7	6	6	5	6

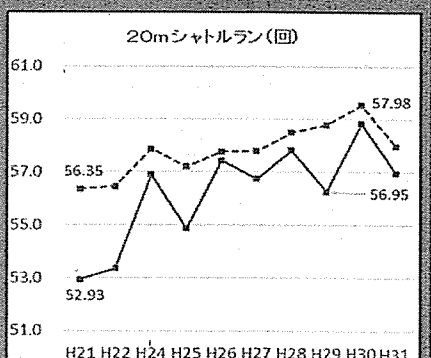
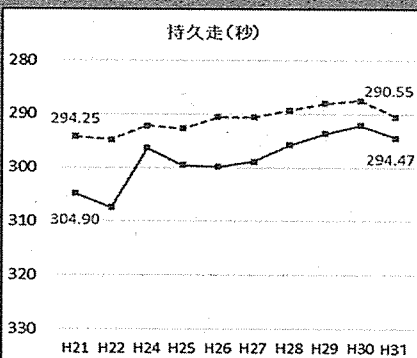
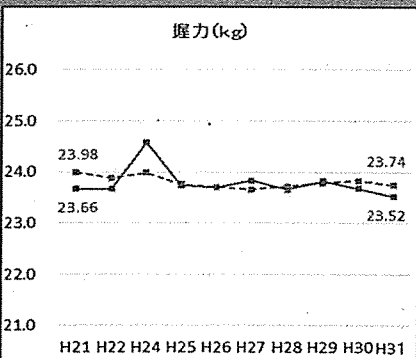
※H22、H24は抽出調査、H23は東日本大震災の影響により調査無し

2 本年度全国平均と同じか上回る種目の傾向（H21～H31）

--- 全国
— 広島市



3 本年度全国平均を下回る種目の傾向（H21～H31）

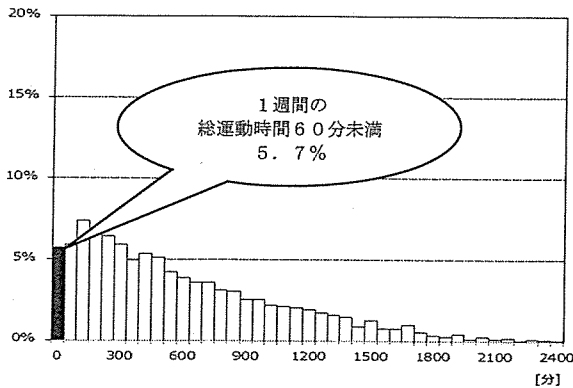


- 全国平均値(H31)との比較
 - ・ 同以上回る種目(6種目)
上体起こし 長座体前屈 反復横とび 50m走 ハンドボール投げ 立ち幅とび
 - ・ 下回る種目(3種目)
握力 持久走 20mシャトルラン
- 広島市平均値(H21)との比較
 - ・ 同以上昇している種目(8種目)
上体起こし 長座体前屈 反復横とび 持久走 20mシャトルラン
50m走 ハンドボール投げ 立ち幅とび
 - ・ 低下している種目(1種目)
握力

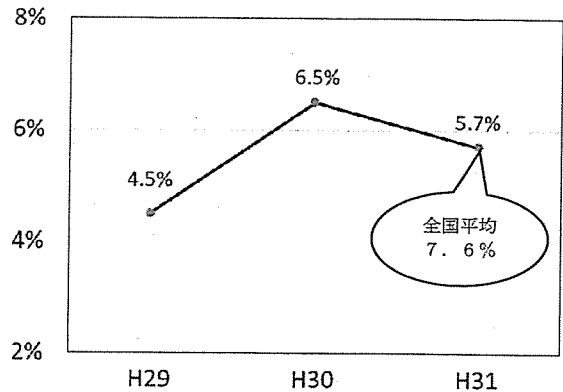
(6) 質問紙調査の結果（一部抜粋）

① 1週間の総運動時間の分布及び60分未満割合の経年変化（体育・保健体育の授業を除く）

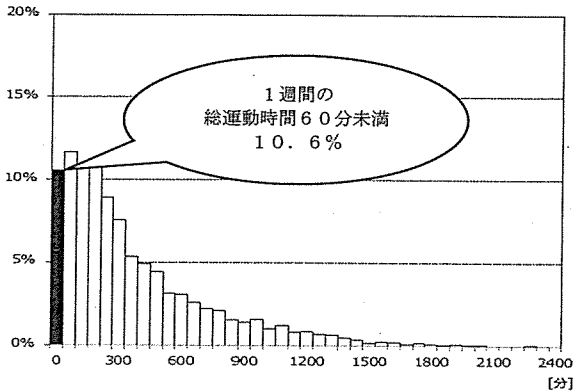
【小学校第5学年分布：男子】



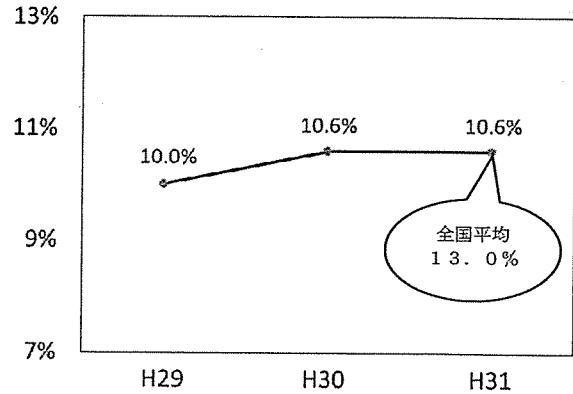
【小学校第5学年経年変化：男子】



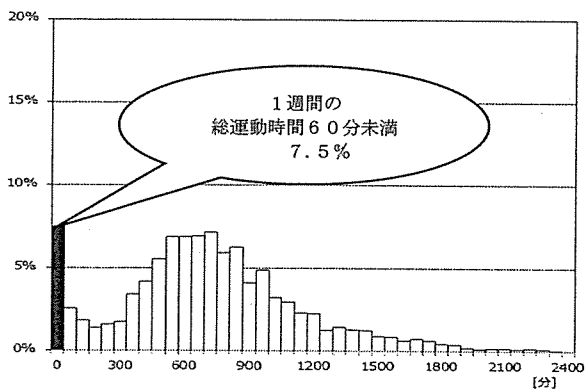
【小学校第5学年分布：女子】



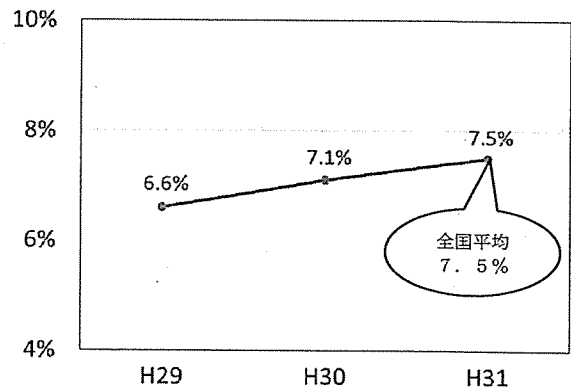
【小学校第5学年経年変化：女子】



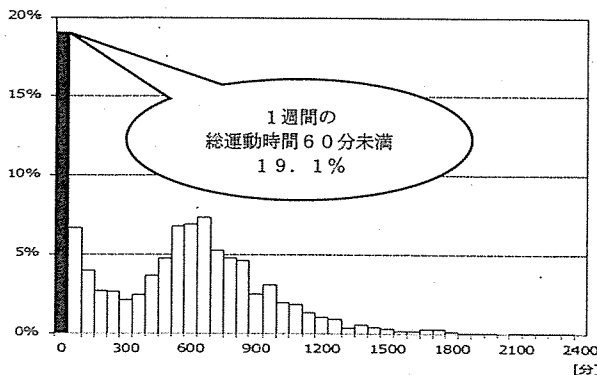
【中学校第2学年分布：男子】



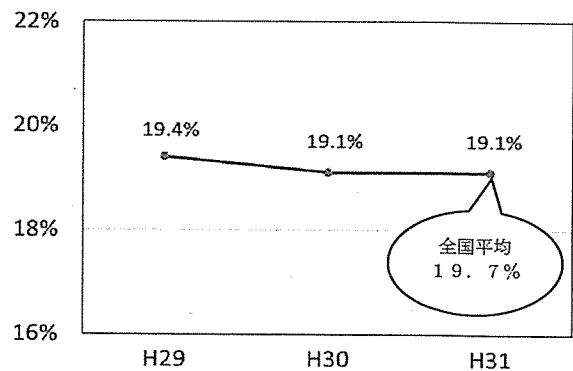
【中学校第2学年経年変化：男子】



【中学校第2学年分布：女子】

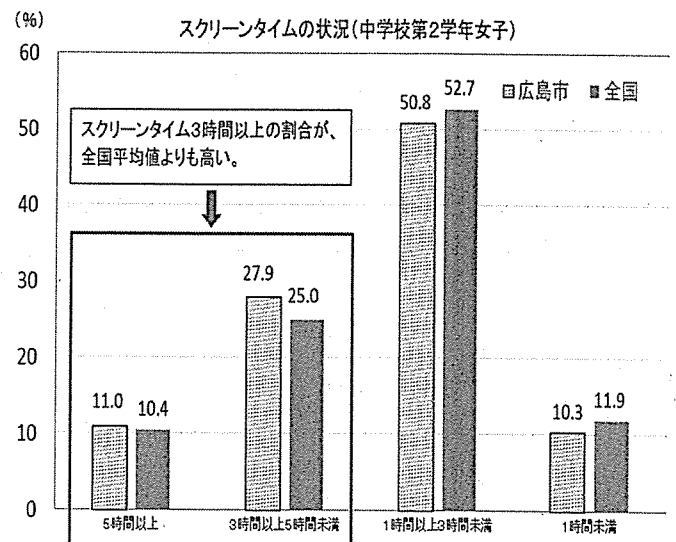
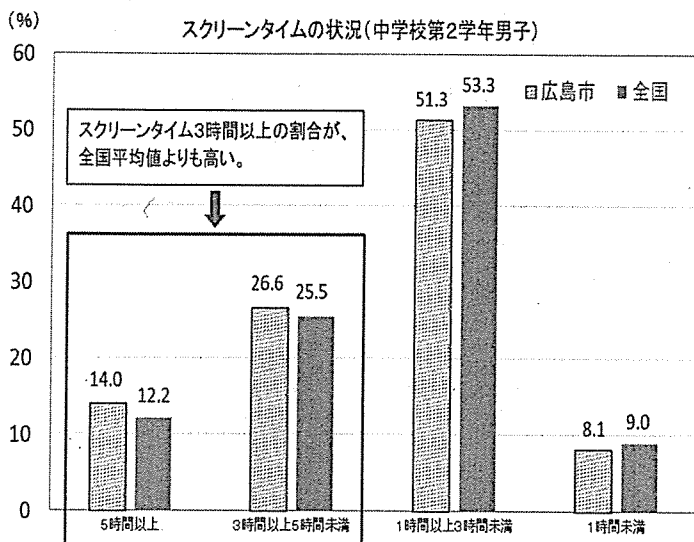
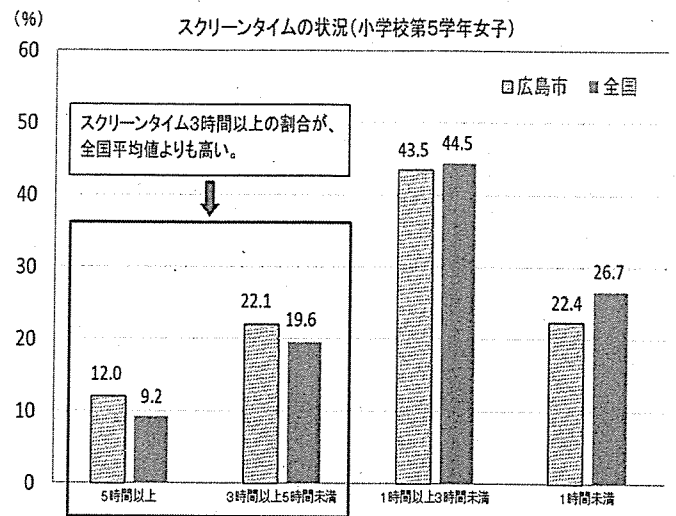
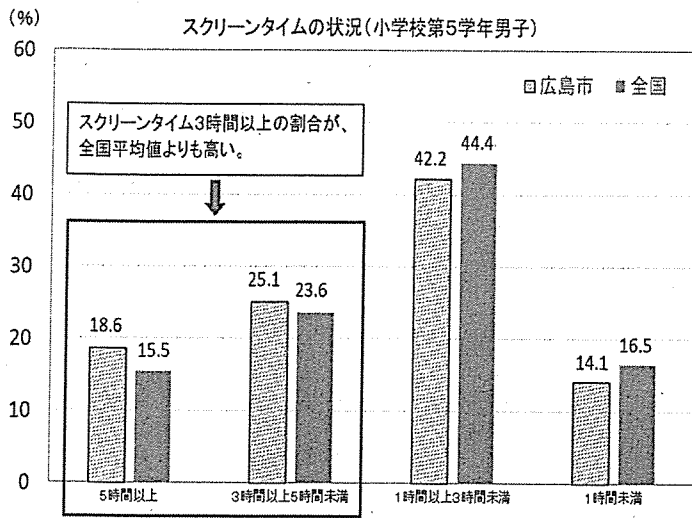


【中学校第2学年経年変化：女子】



- 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒の割合は、中学校第2学年男子以外は昨年度よりも同じか減少しています。
- 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒の割合は、全国平均と比較すると、小中学校男女とも全国平均と同じか低い割合になっています。

②児童生徒のスクリーンタイムの状況について



※スクリーンタイム…平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

○ スクリーンタイム3時間～5時間及び5時間以上の児童生徒の割合は、全国平均と比較すると、小中学校男女とも全国平均より高い割合になっています。

2 分析結果

- (1) 本市の児童生徒の体力の状況は、全体的に改善の傾向が見られるが、H21と比較すると、小学校では、男子は「握力」、「50m走」など5種目、女子は「握力」、「ソフトボール投げ」の2種目が低下した。中学校では、男子は「握力」、「持久走」、「ハンドボール投げ」の3種目、女子は「握力」が低下しており、課題がある。
- (2) 全国平均値との比較でみると、小・中学生ともに、「握力」、「20mシャトルラン」・「持久走」といった持久力、「立ち幅とび」が下回っており、課題がある。
- (3) 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒の状況については、全国平均値との比較では、同じか下回るものの、依然として中学生女子を中心に運動習慣の二極化が見られる。

3 今後の方針

- (1) 本市の児童生徒の課題である「握力」、「20mシャトルラン」・「持久走」、「立ち幅とび」の改善に向けた取組を行う。
- (2) 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒に対する運動習慣の定着に向けた取組を行う。
- (3) 運動、食事、睡眠のバランスのとれた生活習慣の改善及びスクリーンタイム縮減に向けた取組を行う。

これらを通じて、本市児童生徒の体力の向上を図る。

<具体的な取組>

- (1) 「握力」、「20mシャトルラン」・「持久走」、「立ち幅とび」の改善に向けた取組
 - ア 体力向上推進校の指定
 - ・ 体力向上推進校を指定し、授業改善を推進する。具体的には、体育・保健体育の時間に、本市教育委員会が策定している「主運動につながる運動事例集」を活用するなど、帯の時間を使い、「握力」、「20mシャトルラン」・「持久走」、「立ち幅とび」など、調査で明らかになった課題の改善に取り組む。また、その成果を公開研究会や実践発表会等を通じて、他の小・中学校へ普及・啓発を行う。
 - イ 教員の指導力向上に係る実技研修会の開催
 - ・ 体育・保健体育の授業改善を図る取組として、実技研修会を開催する。内容としては、本市の課題となっている「握力」、「20mシャトルラン」・「持久走」、「立ち幅とび」の向上に向けた具体的な取組について、研修を行うこととする。また、児童生徒一人一人が目標記録を設定して取り組むことや正しい計測の仕方についても周知を図る。
- (2) 1週間の総運動時間60分未満の児童生徒に対する運動習慣の定着に向けた取組
 - ア 主体的に運動に取り組む関心・意欲の向上
 - ・ 休憩時間や放課後を利用して、縄跳びや球技など、学校生活の中で運動に親しむ機会を設定し、1週間の総運動時間60分未満の児童生徒に体を動かすことの楽しさや心地よさを実感させる。
 - ・ 1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒を減少させるために作成した、家庭でもできる手軽な運動事例集を広島市中学校教育研究会や広島市中学校体育連盟、広島市中学校文化連盟と連携して周知を図る。
 - ・ 児童に体を動かすための動機付けとして、「体力アップハンドブック」を交付し、運動の習慣化を図る取組を継続して行う。
 - イ 体育・保健体育の授業改善
 - ・ 自校の調査結果を分析し、体育・保健体育科の授業導入時に、運動事例集に記載されたボール投げキャッチやジャンケン鬼ごっこなど、体力向上に係る運動を取り入れる。
- (3) 運動、食事、睡眠のバランスのとれた生活習慣の改善及びスクリーンタイム縮減に向けた取組
 - ・ 生活リズムカレンダーの活用を促すことなどによって、児童生徒に健康的な生活習慣を身に付けさせる指導を行うとともに、学校通信やホームページ等により、「運動」、「食事」、「睡眠」、「スクリーンタイム」に関する情報を保護者に発信し、啓発活動を行う。
 - ・ 「10オフ運動」等の情報を保護者に発信し、啓発活動を行う。